

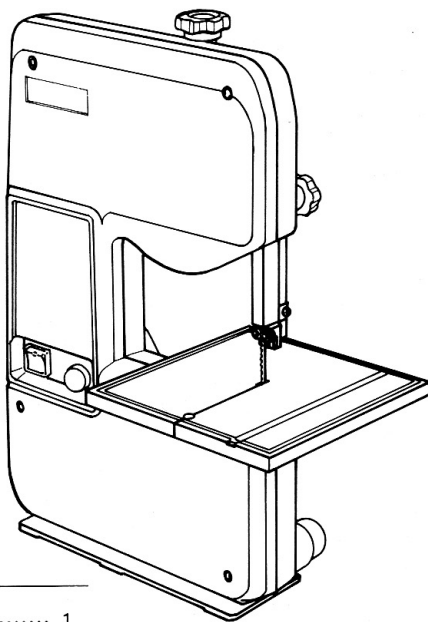
RYOBI®

卓上バンドソー

TBS-50

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1
- ・各部のなまえ 5
- ・仕様 6
- ・定盤の組み付け 6
- ・本体の固定 7
- ・「電源の接続」と「帯鋸刃張り調整」 8
- ・切断作業 12
- ・切りくずの処理 14
- ・保守と点検 15

家庭用

このたびは、リョービ卓上バンドソーをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部に表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。

なお、に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守ってください。
- 使用前に、これらすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⚠ 警 告

6. 無理をして使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。

11. 加工する物をしっかりと固定してください。

- ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

12. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または、修理する場合。
- ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。



警 告

15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

16. 不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

19. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書およびリョービカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。

専門の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しただけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

卓上バンドソーご使用上のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、卓上バンドソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警 告

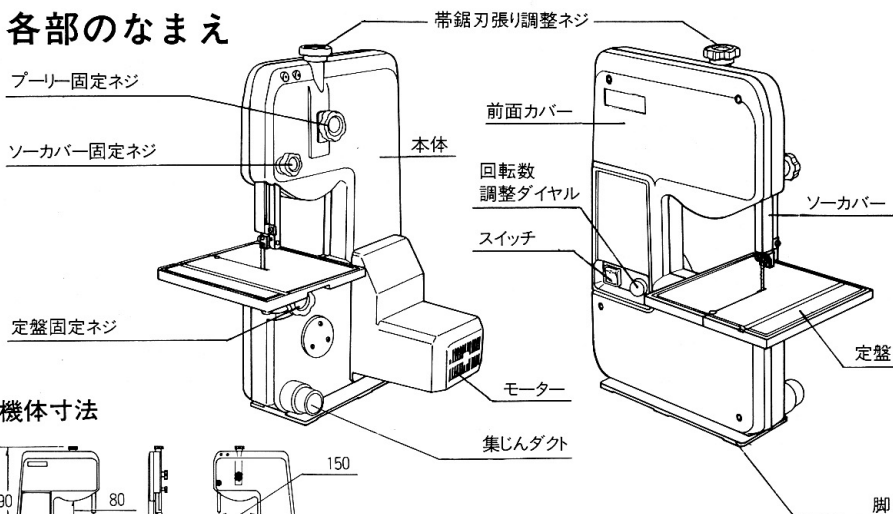
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 電源の接続前に、必ずアース（接地）してください。
 - ・アースしていないと、感電の原因になります。
3. 使用前に本体を、安定した台などに固定してください。
 - ・確実に本体が固定されていないと、作業中に本体が振れたり、倒れたりしてけがの原因になります。
4. 保護のソーカバーは、必ず材料の近くまで降ろしてご使用ください。
 - ・帯鋸刃が露出したままですと、けがの原因になります。
5. 帯鋸刃は指定のものを使用してください。また、正しい方法で確実に取り付けてください。
 - ・指定外のは、けがの原因になります。
6. 切断する材料は、しっかりと支えて保持してください。
 - ・保持がゆるいと、けがの原因になります。
7. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みなどで帯鋸刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置で支えるようにしてください。
 - ・帯鋸刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
8. 使用中は、帯鋸刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
9. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、帯鋸刃や機体などに損傷や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードのみですと、感電の原因になります。
12. 使用しないときは、スイッチを切ったのち、必ず電源コンセントからプラグを抜いてください。



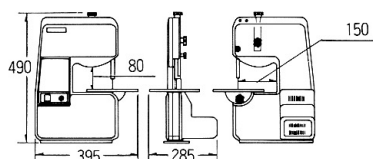
注 意

1. 刃物類（帯鋸刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 帯鋸刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・帯鋸刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、帯鋸刃を空転させ、機体の振動や帯鋸刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・刃こぼれや、反発から思わぬけがの原因になります。
6. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
7. スイッチを切った後も、惰性で回転している帯鋸刃に注意してください。
 - ・手などが触れると、けがの原因になります。
8. 作業直後の帯鋸刃は高温になっているので、触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
9. 回転させたまま、放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。
10. 定格時間以上の連続使用は、しないでください。
 - ・使用する場合は、必ず一度スイッチを切り、しばらくたってから使用してください。

各部のなまえ



●機体寸法



■仕様

電源	家庭用AC100V・50/60Hz
定格電流	1.0A (定格30分)
消費電力	90W
帯鋸刃周速	130~200 m/分
プーリー回転数	240~420回転/分
取付可能帯鋸刃	幅3~10mm×周長1,060mm
コード長さ	1.7m
本体重量	6.0kg

●通常付属品

- 帯鋸刃 (鉄工・木工兼用)
(14山・幅5mm×周長1,060mm)
- L型六角棒レンチ
(大・5mm/中・2.5mm/小・2mm)各1本
- マイターゲージ(角度切りガイド)
- 集じんダクト用ゴムパイプ

●加工能力

やわらかい木	最大80mm厚
かたい木	約50mm厚
鉄	約10mm厚
真ちゅう・銅	約15mm厚
アルミ	約20mm厚
プラスチック	約30mm厚

●加工時間の目安 (実測参考地)

木 (米松・5cm角材)	15秒
非鉄金属(アルミ板) (長さ10cm×1mm厚)	8秒
鉄(鋼板) (長さ10cm×0.8mm厚)	18秒

■卓上バンドソー用 帯鋸刃(別販売)

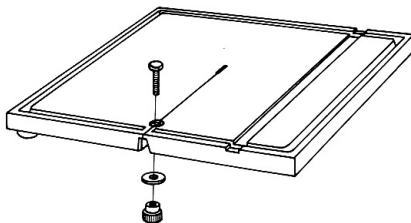
品 名	モデル	1分当りの歯数	幅×周長(mm)
帯鋸刃(鉄工・木工兼用刃/小さい曲線用)	M-1140	14山	3.5×1,060
帯鋸刃(鉄工・木工兼用刃/小さい曲線・薄い板用)	M-1141	24山	3.5×1,060
帯鋸刃(鉄工・木工兼用刃/一般切断用)	M-1142	14山	5×1,060
帯鋸刃(鉄工・木工兼用刃/一般切断・薄い板用)	M-1143	24山	5×1,060
帯鋸刃(鉄工・木工兼用刃/精密切断・薄い板用)	M-1144	24山	6×1,060
ダイヤモンドブレード(ガラス・タイル・セラミック・石材の切断用)	M-1145	#120	3×1,060
水槽タンクセット………ダイヤモンドブレードを利用されるとき、必要です。 (水槽タンク、受け皿、ビニールホース、ダイヤモンドブレード専用ガイド他)			

■定盤の組み付け

定盤は取り外した状態で梱包されています。

ご使用前に定盤を組み付けてください。

- 定盤の切り欠き部にあるネジを裏面のナットを廻しゆるめ、取り外します。

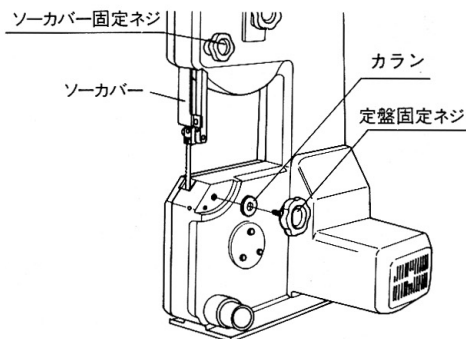


注 意

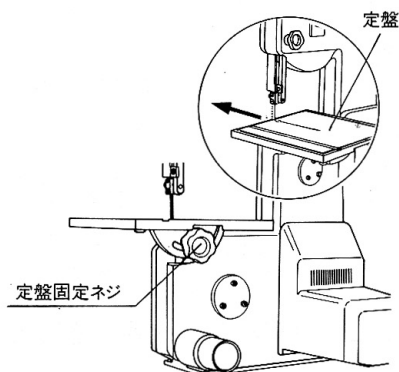
1. ナットをゆるめた際、平座金をなくさないように注意してください。

- 本体裏側の定盤固定ネジ(黒いノブネジ・大)をゆるめ、カランと一緒に取り外します。

このときソーカバー固定ネジ(黒いノブネジ・小)もゆるめ、ソーカバーを5cmくらい上へ持ち上げ固定しておきます。



- 帯鋸刃の歯のうしろ側より定盤の切り欠き部を合わせ挿入します。
定盤角度目盛り部の外側から先に取り外していた定盤固定ネジ(カランを通したもの)で締付けて固定します。
- つぎに、もとのように定盤切り欠き部のネジを取り付けます。



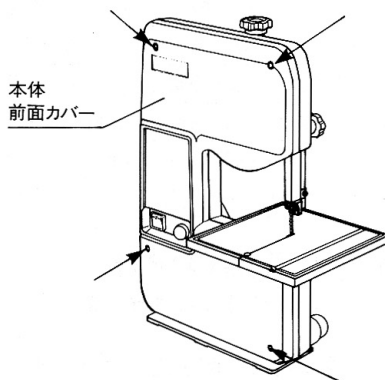
■ 本体の固定

本機を安定した状態でご使用いただけますよう脚部に5ヶ所、木ネジ取付け用の穴をあけています。

この穴を利用し、作業台または作業用机に固定します。

● 前面カバーの取り外し

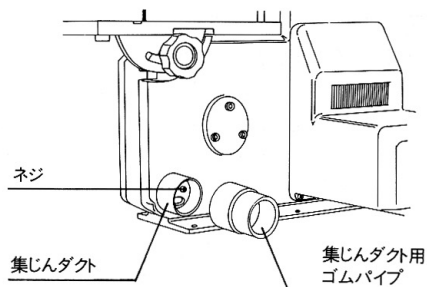
- 本体、前面カバーを固定している4本のボルトをL型六角棒レンチ(大・5mm)を使いゆるめ、前面カバーを取り外します。



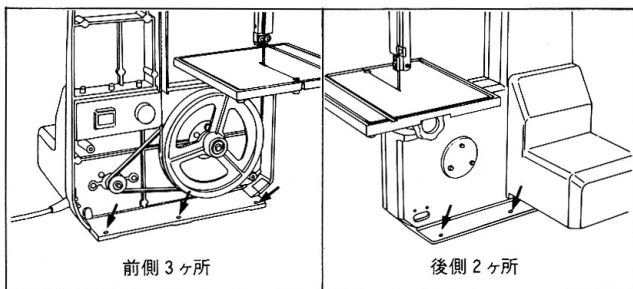
⚠ 注 意

1. 前面カバーの固定ボルトは、下から上の順にゆるめ、はずしてください。

- 集じんダクトの中にある2本のネジを、お手持ちの⊕ドライバーを使いゆるめ、集じんダクトを取り外します。



- この状態にしてから、お手持ちの木ネジ5本で、本機をしっかりと台に固定してください。
 <固定用穴径φ4mm>
 固定ができたら、逆の要領で集じんダクト、前面カバーを取り付けます。



注 意

1. 前面カバーの固定ボルトは、上から下の順に、取り外しとは逆に取り付けてください。
2. ボルトの締付けは、4ヶ所均等の力で、ゆるまない程度に軽く締付けてください。

■「電源の接続」と「帯鋸刃の張り調整」

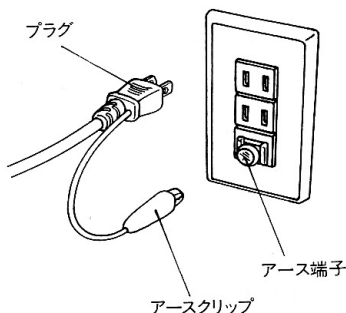
●「電源の接続」



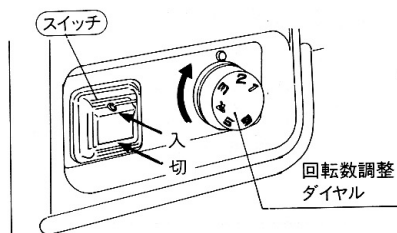
警 告

1. 電源の接続前に、アース端子を使って必ずアース（接地）してください。
 - ・ アース線は確実にアースができるアース端子などで行なってください。絶対にガス管などを代用にしないでください。火災や爆発の恐れがあり危険です。
2. 電源コンセントにプラグを接続する前に、必ずスイッチが切れていることを確認してください。

- 電源プラグより出ているアースクリップを利用して、電源コンセントのアース端子にアース接続（接地）をしてください。
アース端子がないときは、別にアース棒などを使ってアースを引く工事を行なったうえで、確実に接続してください。



- スイッチが「切」になっていることを確認してください。
スイッチ上部の白い丸印が見えている状態が「切」です。
「切」になっていないときは、「切」にしてください。



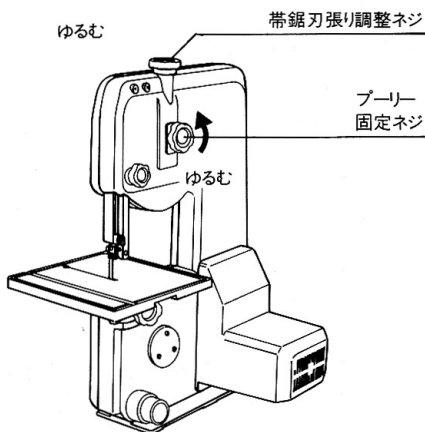
- 電源コンセントにプラグを差し込み、電源を接続します。
- 回転数調整ダイヤルを回し、ダイヤル表面の数字「1」が上にくるようにします。（低速にセットします。）
数字「1」は低速。数字「6」は高速回転となります。
- スイッチを入れます。
（白い丸印は、隠れて見えなくなります。）
モーターが回り、帯鋸刃が動き始めます。
- スイッチの確認が済みましたら、スイッチを切りつぎに電源コンセントからプラグを抜いてください。
プラグを抜くときは、必ずプラグ部分をもって確実に抜いてください。

⚠ 注 意

1. プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
コードなどを持って引き抜きますと、思わぬけがの原因になることがあります。
2. 運転しないときはもちろん、点検や帯鋸刃の調整などのときは、必ずスイッチを切ったのちに電源コンセントからプラグを抜いてください。
電源コンセントにプラグが接続したままになっていると、不意にスイッチが入り思わぬけがの原因になることがあります。

帯鋸刃の張り調整

- プーリー固定ネジ（裏面、黒いノブネジ・大）を左に半回転ほどゆるめます。つぎに帯鋸刃張り調整ネジ（上部、黒いノブネジ・大）を左に半回転ほどゆるめます。このとき、あまりゆるめすぎますと帯鋸刃がプーリーよりはずれますので、ご注意ください。
- 帯鋸刃張り調整ネジを右に軽く締め付け調節します。（水道の蛇口を締めるくらいの強さを目安としてください。）



注 意

1. 帯鋸刃張り調整ネジは、あまり強く締め付けると帯鋸刃の切れる原因となったり、機械故障の原因となります。また、締め付けがゆるいと帯鋸刃がスリップ、プーリーから外れる原因となります。

- 張り調整が済みましたら、必ずプーリー固定ねじを締め付けて下さい。

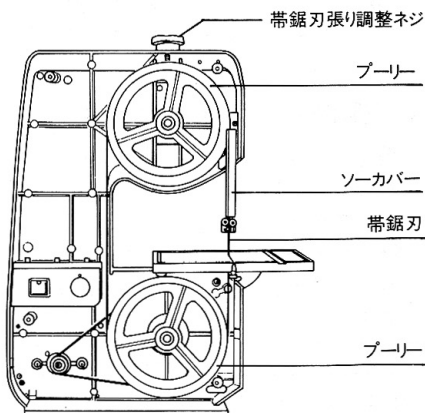
帯鋸刃の交換

⚠ 警 告

1. 前面カバーを開き帯鋸刃に触れるときは、必ずスイッチを切るとともに電源コンセントからプラグを抜いてください。

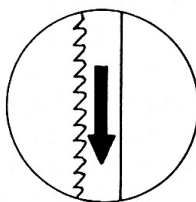
● 帯鋸刃の取り外し

- 前面カバーを取り外します。
- プーリー固定ネジをゆるめ、帯鋸刃張り調整ネジをゆるめます。
- ソーカバー固定ネジをゆるめ、ソーカバーを一番下まで降ろします。
- 定盤切り欠き部のネジをゆるめ、取り外します。
- 両手で帯鋸刃を持ち、除々に帯鋸刃を持ち引き出し、本機から帯鋸刃を取り外します。



●帯鋸刃の取り付け

- 帯鋸刃の刃先方向と回転方向に注意してください。
- 定盤切り欠き部より帯鋸刃をキズ付けないよう静かに挿入し、上下のプーリーに帯鋸刃をかけます。
- つぎにソーガイド下にある鋸刃ガイドの、左右に並んでいるローラーの間に帯鋸刃を通し（差し込み）ます。
また、定盤面下の鋸刃ガイドの切り欠き部へも、帯鋸刃を通し（差し込み）ます。



鋸刃ガイドの調整

- 帯鋸刃は出荷時に本体に取り付けて、調整してありますが、帯鋸刃の性質上、鋸刃を交換されたり、違った幅の帯鋸刃を取り付けた場合、鋸刃が前後に移動することがあります。そのときは、上、下の鋸刃ガイドを調整してください。

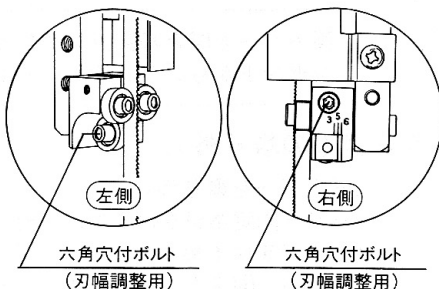
A.上側の鋸刃ガイド（ローラー付）の調整

左側の六角穴付ボルトをL型六角棒レンチ（中・2.5mm）でゆるめた後、帯鋸刃の幅に鋸刃ガイド右側に表示してある数字位置を合わせます。

注 意

1. 前後に動かし調整後、六角穴付ボルトを確実に締付けてください。

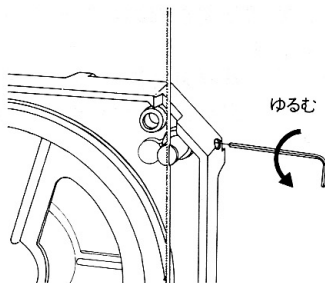
- つぎに右側の数字上にある、六角穴付ボルトをゆるめ、帯鋸刃の厚みにローラーを合わせます。
このとき、あまり強く締め付けしないでください。ローラーから異音が出る原因となります。



B.下側の鋸刃ガイドの調整

鋸刃ガイドの右側、本体の外側よりL型六角棒レンチ（小・2mm）を差し込み、左に回してゆるめます。

鋸刃ガイドの切り欠き（溝）に帯鋸刃が入るよう、鋸刃ガイドを前後に動かし調整します。



注 意

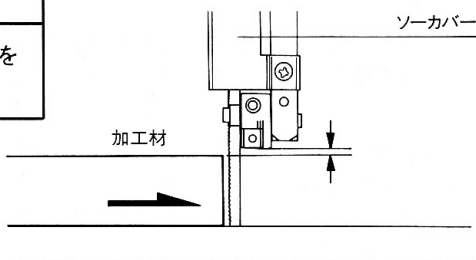
調整後は、必ずL型レンチで六角穴付ボルトを確実に締付け、固定してください。

- 帯鋸刃の張り調整同様、帯鋸刃の張り調整ネジを締め付け、次にプーリー固定ネジを締め付けます。
- 回転数調整ダイヤルを「1」にして、電源を入れ帯鋸刃を回転させます。
異常がないことを確認した後に、 前面カバーを取り付けます。

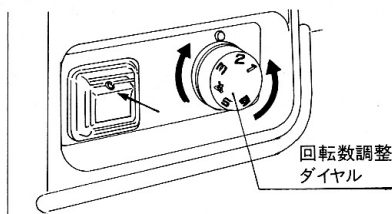
■ 切断作業

- ソーカバー固定ネジをゆるめ、ソーカバーを切断する材料の近くまで下げてください。

⚠ 警 告
1. 作業中は、安全のためソーカバーを必ず下げてお使いください。



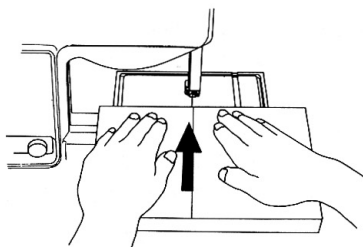
- 切断する材料に合わせて帯鋸刃の回転スピードを調整します。
本体スイッチ上の表を参考に、回転数調節ダイヤルを回し、合わせてください。
※表は帯鋸刃の性質に合わせた参考値です。
目安としてご覧ください。



● TBS-50加工材に対しての最適回転数

		ダイヤル数					
加工材		1	2	3	4	5	6
木工・金工 兼用帯鋸刃	やわらかい木						
	合板						
	かたい木						
	アクリル・ペークライト						
	ABS樹脂						
	グラスファイバー						
	塩化ビニール						
	アルミ						
	銅						
	真ちゅう						
	鉄板						
ダイヤモンド ブレード	タイル						
	陶磁器・セラミック						
	ガラス製品						
	石材						

- スイッチを入れ、帯鋸刃の回転が指定の回転数で安定して回り始めてから、切断する材料の切断位置を静かに帯鋸刃の刃先に当て、切断を開始します。



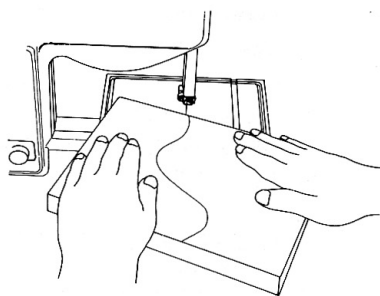
注 意

1. 切断する材料は、必ず定盤面に密着させて切断作業をしてください。
2. 無理に材料を刃先に押し当てないで、帯鋸刃が切り込む速度に合わせてゆっくりと送ってください。
3. 細かい作業や、薄い材料を切断するときは、帯鋸刃の山数が多いものを使用してください。
また、材料を定盤面に確実に密着させて切断加工をしてください。

- 切断する材料については、あらかじめ、切断する位置に線を引いておきます。
この線を目印に、材料を左右に調節し、線に沿って切断します。

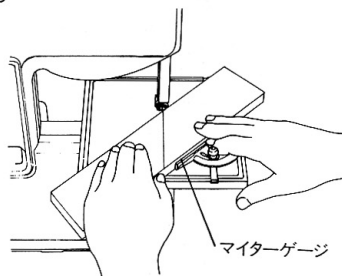
● 曲線切断——— 3.5mm巾の帯鋸刃を使用。

円弧や曲線を切断する場合は、送材速度（材料を切り込む状態に合わせて送り込む速さ）や回転数をやや遅くすると切りやすくなります。



● 直線(角度)切断—巾広の帯鋸刃を使用。

付属のマイターゲージで角度を設定した後、マイターゲージの金属ガイドを定盤面の溝に入れ送り込むことにより、直線(角度)切断が安定してできます。

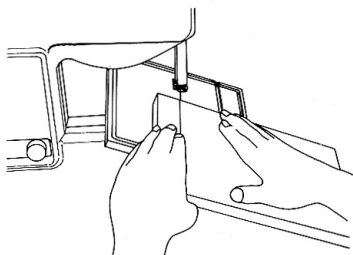


● 傾斜切断

定盤固定ネジをゆるめ、定盤の傾斜角度を変えます。

(最大右へ45度まで傾斜できます。)

切断作業に入るときは、必ず定盤を固定してください。



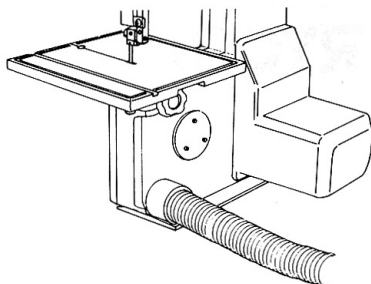
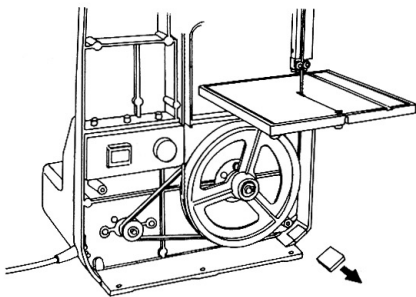
注 意

1. 金属切断をされるときに切削油を使用されますと、帯鋸刃とプーリーとの密着が悪くなり、スリップや帯鋸刃の外れる原因になります。
切削油を使用しないでください。
2. ガラス、タイル、石材等の切断は別販売のダイヤモンドブレード、水槽タンクセットを使用してください。
 - ・水槽タンクセットを使われる際は、モーター部に水がかからないよう十分注意して使用ください。
 - ・防水構造ではありません。
 - ・受け皿から水があふれたり、こぼれたりしないように注意してお使いください。

- 切断作業が終了しましたら、すぐにスイッチを切り、電源コンセントからプラグを抜いてください。

■ 切りくずの処理

- 切断作業時の切りくずを下に落したいときは、前面カバーを開き、本体右下コーナーのパネルをはずしてください。ここから切りくずは下へ落下します。
- 時々、前面カバーを開き、内部にたまった切りくずを清掃し、取り除いてください。
- 集じんダクトに、お手持ちの集じん機のホースを接続すれば、より快適な状態で切断作業をしていただけます。
(水槽タンク使用時には、使えません)
集じんダクト径はφ38mmです。



■ 保守と点検

● 帯鋸刃保護のため、保管時は帯鋸刃の張りを緩めて保管してください。

● 早目の帯鋸刃交換。

摩耗した帯鋸刃をご使用になりますと、能率が悪いばかりか、モーターに無理な力をかけることになります。

切れなくなった帯鋸刃は早めに交換してください。

● 使用後の手入れ。

切りくずなどは取り除き、使いやすい状態にしておいてください。

乾いた布か、石けん水をふくみ、硬くしぼった布で汚れた部分をふきとってください。ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。

防水構造ではありませんので、水あらいは絶対にしないでください。

● 各部取り付けネジの点検。

ご使用前、ご使用後には、ネジなどのゆるみがないか、確認してください。

ゆるみがある場合は、締め直してください。

● 作業後の保管

直射日光の当たらない、高温にならない、乾燥した場所に保管してください。

また、小さいお子様の手の届かない安定したところで、落下のおそれのないところへ置いてください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

*改良のため、お断りなく製品仕様が変わることがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社